

# 週間漁海況情報—第3号

平成24年1月23日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

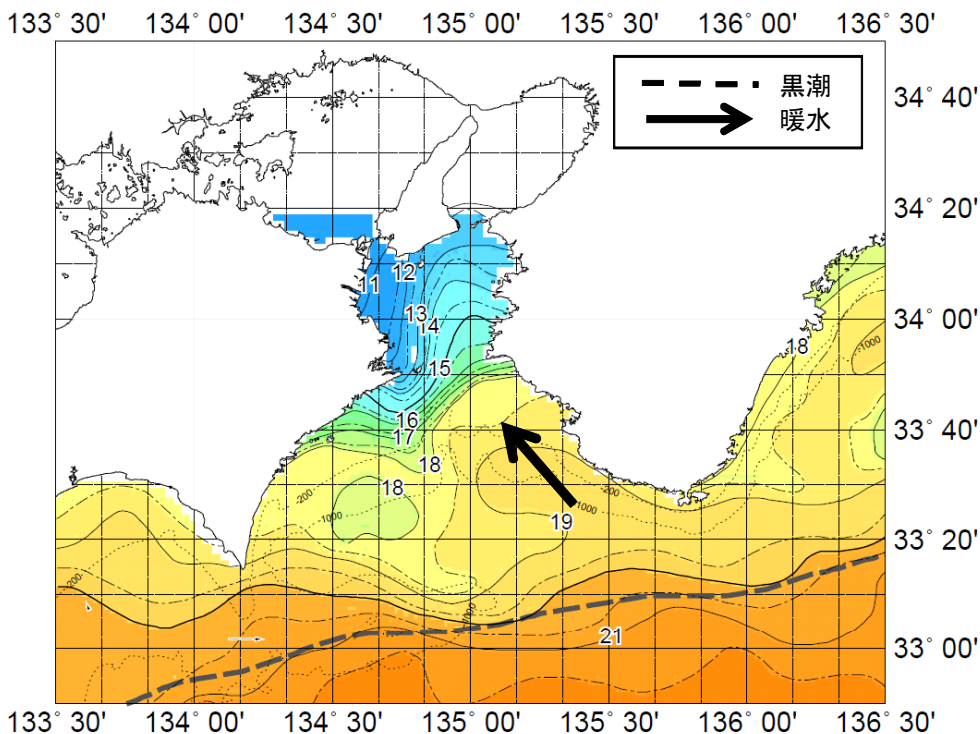
## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.1.23）を示した。

黒潮は、室戸岬および潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道で10～15℃台、海部沿岸で12～18℃台である。

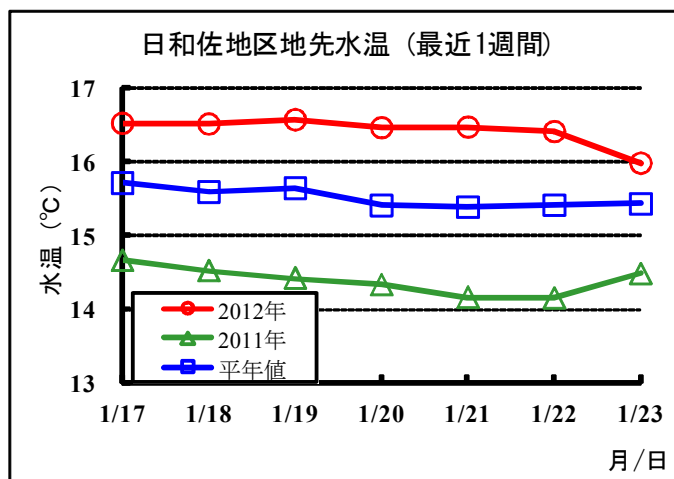
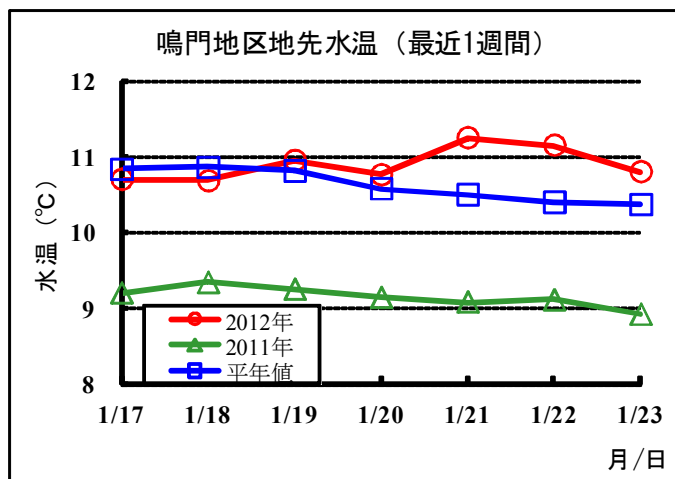
紀伊水道外域では、先週末以降、和歌山県沿岸から暖水が流入している。



この影響から、紀伊水道外域の徳島県側の内海系水が南下がみられ、現在は海部沿岸上灘まで16℃以下の内海系水に覆われている。

内海系水と黒潮系暖水との明瞭な潮境が、伊島南方から日ノ御埼にかけて確認できる。

**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の10.7～11.3℃、日和佐地区で「やや高め」の16.0～16.6℃、牟岐地区は「平年並み」～「かなり高め」の15.5～17.5℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で大主体にサバフグが0.2トン（1日1隻当たり21kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で、アオリイカが0.4トン（同9kg）、カタクチイワシが0.8トン（同37kg）、中主体にスズキ類が0.2トン（同14kg）、マルソウダが0.6トン（同23kg）、メジナが0.5トン（同36kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で小小主体にシイラが0.2トン（同43kg）、大主体にヒラソウダが0.3トン（同68kg）、マルソウダが0.6トン（同111kg）、メアジが0.3トン（同67kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で小主体にゴマサバが0.2トン（同32kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 1月16日～1月22日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	11	228	21	大主体
小型定置網		アオリイカ	39	353	9	
		カタクチイワシ	21	769	37	
		スズキ類	15	210	14	中主体
		マルソウダ	24	558	23	
		メジナ	14	506	36	
大型定置網		シイラ	5	215	43	小小主体
		ヒラソウダ	5	339	68	大主体
		マルソウダ	5	554	111	
		メアジ	5	336	67	
釣り		ゴマサバ	7	226	32	小主体

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。海部沿岸では、内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の8℃台後半～10℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の14～15℃台で推移する見込み。

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年1月17～23日の海部沿岸では、延縄で大主体にアマダイが0.3トン、カワハギが0.5トン、小型定置網でアオリイカが1.3トン、カタクチイワシが0.3トン、キビナゴが0.2トン、スルメイカが0.2トン、大・小主体にマアジが0.3トン、小主体にマルアジが0.4トン、メジナが0.5トン、大型定置網で大・中主体にアオリイカが0.6トン、大主体にカワハギが0.4トン、大主体にスルメイカが1.2トン、小小主体にマルアジが0.3トン、中主体にメジナが0.3トン、釣りで大主体にアオリイカが1.0トン、中・小主体にタチウオが0.7トン水揚げされていた。

**他県情報**：宮崎県（1月5～11日）のパッチ網で、シラス（ウルメ主体）4.0トン（1日1統・隻当たり502kg）が水揚げされた。